



令和6年12月26日

各 位

会 社 名 株式会社 オーシャンシステム 代表者名 代表取締役社長 樋口 勝人 (コード番号3096 東証スタンダード市場) 問合せ先 取締役兼執行役員管理本部長 本間 武士 電話番号 0256-33-3987 (代表)

# 連結子会社の吸収合併(簡易合併・略式合併)及び債権放棄に関するお知らせ

当社は、取締役会において、令和7年4月1日を効力発生日として、当社の完全子会社である株式会社フーディー(以下、「フーディー」という。)を吸収合併(以下、「本合併」という。)することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、当社は、本合併にあたり当社がフーディーに対して有する債権の一部を放棄することを併せて決議いたしました。

なお、本合併は、完全子会社を対象とする簡易合併であるため、開示事項・内容を一部省略しております。

記

### 1. 本合併の目的

フーディーは、当社のセグメント「弁当給食事業」におきまして「フレッシュランチ39」ブランドによる企業宅配弁当の製造及び販売を行っております。本合併は、事業活動の一本化による経営体制の強化、業務の効率化による生産性の向上、経営資源の共有と有効活用など、成長の加速と収益性の向上を目的としております。

## 2. 本合併の要旨

(1) 本合併の日程

取締役会決議日(当社、フーディー)令和6年12月26日吸収合併契約締結日令和6年12月26日吸収合併効力発生日令和7年4月1日(予定)

(注)本合併は、当社においては、会社法第796条第2項に定める簡易合併、フーディーにおいては、会社法第784条第1項に定める略式合併に該当するため、いずれも合併契約に関する株主総会の承認を得ることなく行うものです。

#### (2) 本合併の方式

当社を存続会社とし、フーディーを消滅会社とする吸収合併方式といたします。 なお、フーディーは債務超過となっておりますが、本合併に先立ち、当社がフーディーに対し て有する債権の一部を放棄し、債務超過状態を解消した後に本合併を行う予定です。

(放棄する債権の内容)

債権の種類:貸付金

債権の額 : 20百万円 (予定)

実施日:令和7年3月31日(予定)

(3) 本合併に係る割当ての内容

フーディーは当社の完全子会社であるため、本合併に際して株式の発行または金銭等の割当はありません。

(4) 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い 該当事項はありません。

## 3. 本合併の当事会社の概要

3.本合併の当事会社の概要			
		存続会社	消滅会社
(1)	名称	株式会社オーシャンシステム	株式会社フーディー
(2)	所 在 地	新潟県三条市西本成寺二丁目26番57号	山形県米沢市中田町1209番地の9
(3)	代表者の 役職・氏名	代表取締役社長 樋口 勝人	代表取締役社長 横山 均
(4)	事業內容	食品スーパーによる店舗展開、企業向け 日配弁当等の製造・販売及び食堂運営の 受託、夕食材料セット等の宅配、惣菜製 造、旅館ならびに外食事業の運営	企業向け日配弁当等の製造・販売及び 委託食堂
(5)	資 本 金	801百万円	10百万円
(6)	設立年月日	昭和53年11月1日	平成4年2月26日
(7)	発行済株式数	10,833,000株	200株
(8)	決 算 期	3月31日	3月31日
(9)	大株主及び持株比率	・株式会社ひぐち25.03%・樋口 勤6.67%・樋口 智明1.68%・オーシャンシステム従業員持株会1.67%・株式会社第四北越銀行1.59%・堀口 美花1.24%・樋口 小百合1.22%・日本マスタートラスト信託銀行株式会社1.21%・株式会社HKY0.48%・新潟酒販株式会社0.46%(令和6年9月30日現在)	株式会社オーシャンシステム 100%
(10) 直前事業年度の財政状態及び経営成績			
, ,	決算期 一	令和6年3月期(連結)	令和6年3月期(単体)
純	<u>資産</u>	10,356百万円	△12百万円
総	資 産	23,648百万円	103百万円
	<u>   当たり純資産</u>	1, 100. 18円	△60, 366. 50円
売 上 高		85,899百万円	345百万円
営業利益又は営業損失		1,919百万円	△9百万円
経常利益又は経常損失		2,022百万円	△10百万円
親会社株主に帰属する当期が損失		1,337百万円	△10百万円
1株当たり当期を所益又 は 当 期 純 損 失		142.06円	△54, 693. 71円

- 4. 本合併後の状況 本合併後の当社の名称、所在地、代表者、事業内容、資本金及び決算期に変更はありません。
- 5. 今後の見通し 本合併は、完全子会社との合併であるため、連結業績に与える影響は軽微であります。

以上